



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 長野銀行
 コード番号 8521 URL <http://www.naganobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 西澤 仁志
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 田原 謙治
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0263-27-3311

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,089	6.7	509	32.1	350	27.1
2019年3月期第1四半期	5,460	2.3	750	11.0	481	14.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 947百万円 (113.5%) 2019年3月期第1四半期 443百万円 (15.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	39.09	33.31
2019年3月期第1四半期	53.77	45.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,120,741	56,069	4.9
2019年3月期	1,099,040	55,393	4.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 55,610百万円 2019年3月期 54,913百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		30.00	55.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		25.00		30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	4.5	1,100	13.9	122.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は(添付資料)6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	9,258,856 株	2019年3月期	9,258,856 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	279,564 株	2019年3月期	294,232 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,968,240 株	2019年3月期1Q	8,948,921 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報による判断及び予測に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. 補足情報	7
2020年3月期第1四半期決算説明資料	7
(1) 損益状況(単体)	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示	9
(3) 自己資本比率(国内基準)	10
(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	10
(5) 預金・貸出金等の残高(単体)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、経常収益は、前年同期比3億71百万円減少して50億89百万円となりました。一方、経常費用は、前年同期比1億29百万円減少して45億80百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比2億41百万円減少して5億9百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億30百万円減少して3億50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末比217億1百万円増加して1兆1,207億41百万円となり、純資産は、前連結会計年度末比6億75百万円増加して560億69百万円となりました。

連結ベースの主要勘定につきましては、預金は、前連結会計年度末比57億63百万円増加して1兆354億19百万円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比28億72百万円減少して6,100億88百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比105億85百万円増加して4,090億17百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
現金預け金	47,216	34,873
コールローン及び買入手形	8,776	35,215
金銭の信託	969	1,014
有価証券	398,431	409,017
貸出金	612,960	610,088
外国為替	468	392
リース債権及びリース投資資産	11,224	11,552
その他資産	14,288	12,552
有形固定資産	9,916	9,810
無形固定資産	653	652
退職給付に係る資産	691	688
繰延税金資産	80	79
支払承諾見返	1,412	1,467
貸倒引当金	△8,051	△6,664
資産の部合計	1,099,040	1,120,741
負債の部		
預金	1,029,655	1,035,419
コールマネー及び売渡手形	—	15,000
借入金	2,103	1,926
外国為替	0	3
新株予約権付社債	2,965	2,965
その他負債	4,351	4,839
賞与引当金	375	88
退職給付に係る負債	406	404
役員退職慰労引当金	23	3
役員株式給付引当金	54	57
睡眠預金払戻損失引当金	159	145
偶発損失引当金	97	64
繰延税金負債	2,041	2,286
支払承諾	1,412	1,467
負債の部合計	1,043,646	1,064,672
純資産の部		
資本金	13,017	13,017
資本剰余金	9,722	9,722
利益剰余金	24,693	24,759
自己株式	△759	△718
株主資本合計	46,674	46,780
その他有価証券評価差額金	8,162	8,758
退職給付に係る調整累計額	76	71
その他の包括利益累計額合計	8,239	8,830
新株予約権	75	48
非支配株主持分	405	410
純資産の部合計	55,393	56,069
負債及び純資産の部合計	1,099,040	1,120,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
経常収益	5,460	5,089
資金運用収益	3,608	3,203
(うち貸出金利息)	2,115	2,007
(うち有価証券利息配当金)	1,484	1,188
役務取引等収益	275	307
その他業務収益	1,322	1,328
その他経常収益	253	250
経常費用	4,709	4,580
資金調達費用	82	72
(うち預金利息)	63	53
役務取引等費用	415	377
その他業務費用	1,479	1,274
営業経費	2,730	2,756
その他経常費用	1	98
経常利益	750	509
特別利益	—	1
固定資産処分益	—	1
特別損失	0	1
固定資産処分損	0	1
税金等調整前四半期純利益	750	509
法人税等	265	153
四半期純利益	484	355
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	350

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	484	355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	595
退職給付に係る調整額	△3	△4
その他の包括利益合計	△40	591
四半期包括利益	443	947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440	941
非支配株主に係る四半期包括利益	3	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

3. 補足情報

2020年3月期 第1四半期決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

- 経常収益は、役務取引等収益及びその他業務収益が増加したものの、資金運用収益が減少したことなどにより前年同期比3億63百万円減少し、38億22百万円となりました。
- コア業務純益は、役務取引等利益が増加したものの、資金利益が減少したことなどにより前年同期比3億19百万円減少し、4億58百万円となりました。
- 業務純益は、国債等関係損益が増加したものの、コア業務純益が減少したことなどにより前年同期比1億54百万円減少し、2億81百万円となりました。
- 経常利益は、業務純益が減少したこと及び臨時損益の株式等損益が減少したことなどにより前年同期比2億69百万円減少し、4億42百万円となりました。
- 四半期純利益は、前年同期比1億46百万円減少し、3億14百万円となりました。

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期 (3ヶ月間) (A)	2019年3月期 第1四半期 (3ヶ月間) (B)	対前年同期 (A-B)
経常収益	3,822	4,185	△ 363
業務粗利益	2,932	3,053	△ 121
資金利益	3,141	3,538	△ 397
役務取引等利益	△ 73	△ 145	72
その他業務利益	△ 135	△ 338	203
経費(除く臨時費用分)	2,650	2,618	32
うち人件費	1,358	1,327	31
うち物件費	1,107	1,100	7
実質業務純益	281	435	△ 154
コア業務純益 (除く国債等関係損益)	458	777	△ 319
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益	281	435	△ 154
うち国債等関係損益(5勘定戻)	△ 176	△ 342	166
臨時損益	161	276	△ 115
うち不良債権処理額	△ 33	△ 50	17
うち株式等損益(3勘定戻)	△ 0	184	△ 184
経常利益	442	711	△ 269
特別損益	0	△ 0	0
税引前四半期純利益	443	711	△ 268
四半期純利益	314	460	△ 146

2020年3月期
通期業績予想
(12ヶ月間)

750

1,200

1,450

1,000

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 主な損益項目について、2020年3月期(通期)予想に対する進捗率は次のとおりとなっております。

コア業務純益	61%
業務純益	23%
経常利益	30%
四半期純利益	31%

<ご参考>

与信関係費用

イ 2020年3月期第1四半期累計期間(3カ月間)においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が戻入超過となりましたので、戻入超過額を臨時収益の貸倒引当金戻入益に計上しております。

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期 (3カ月間)	2019年3月期 第1四半期 (3カ月間)	対前年同期比
一般貸倒引当金繰入額①	—	—	—
不良債権処理額②	△ 33	△ 50	17
うち個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
貸倒引当金戻入益③	69	32	37
償却債権取立益④	0	0	0
与信関係費用 = ① + ② - ③ - ④	△ 103	△ 82	△ 21

ロ 上記金額を臨時収益に計上しない場合は、以下のとおりとなります。

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期 (3カ月間)	2019年3月期 第1四半期 (3カ月間)	対前年同期比
一般貸倒引当金繰入額①	△ 15	△ 31	16
不良債権処理額②	△ 87	△ 51	△ 36
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 53	△ 0	△ 53
貸倒引当金戻入益③	—	—	—
償却債権取立益④	0	0	0
与信関係費用 = ① + ② - ③ - ④	△ 103	△ 82	△ 21

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

(単体)

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	42	44	61
危険債権	107	133	108
要管理債権	5	13	5
合計	154	190	175
金融再生法開示債権比率	2.49%	3.19%	2.81%

(注) 上記の各四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

算出方法については、各四半期末を基準日として「自己査定基準」に基づき自己査定を実施して算出しております。

(参考) 自己査定債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権 (破綻懸念先の債権)

要管理債権 (要注意先のうち、元金又は利息の支払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

<ご参考>

部分直接償却を実施した場合の金融再生法開示債権

(単体)

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	19	22	26
危険債権	107	133	108
要管理債権	5	13	5
合計	131	169	140
金融再生法開示債権比率	2.12%	2.85%	2.26%

(注) 部分直接償却とは、自己査定により回収不能または無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収が認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権額から直接減額することです。当行は、部分直接償却を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

(3) 自己資本比率(国内基準)

2019年9月末(予想値)	
連結自己資本比率	10.3%程度
単体自己資本比率	9.9%程度

(参考)

2019年3月末(実績値)	
連結自己資本比率	10.40%
単体自己資本比率	9.95%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)

(単位:億円)

	2019年6月末				2018年6月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	3,798	123	152	28	4,025	119	144	24
株式	140	31	37	5	181	53	58	4
債券	2,265	71	71	0	2,644	67	69	1
その他	1,391	20	43	22	1,199	△1	17	19

(参考)

(単位:億円)

2019年3月末			
時価	評価差額		
	うち益	うち損	
3,713	115	140	24
151	37	41	4
2,276	67	67	0
1,285	10	30	20

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位:億円)

	2019年6月末				2018年6月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	275	4	5	0	191	0	2	1

(参考)

(単位:億円)

2019年3月末			
帳簿価額	含み損益		
	うち益	うち損	
254	2	4	1

(5) 預金・貸出金等の残高(単体)

イ 預金

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末	
預金等(預金+譲渡性預金)	10,363	10,393	10,312	
預 金	10,363	10,393	10,312	
長野県内預金	10,273	10,306	10,040	
長野県外預金	89	86	271	
個人預金	7,224	7,307	7,205	
個人以外の預金	3,138	3,086	3,106	
譲渡性預金	—	—	—	

ロ 預り資産

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末	
預り資産	443	422	435	
うち個人預り資産	435	412	427	

(注) 預り資産は、個人年金保険、投資信託、公共債等の預り残高の合計であります。なお、投資信託残高については、従来の算定方法を変更し、基準日時点の時価額としております。

<ご参考>

預金等・預り資産の合計残高

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末	
預金等・預り資産合計	10,806	10,816	10,747	
うち個人預金・個人預り資産合計	7,659	7,719	7,632	

ハ 貸出金

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末	
貸 出 金	6,175	5,938	6,203	
長野県内貸出金	5,624	5,511	5,650	
長野県外貸出金	551	427	553	
個人ローン	2,076	2,014	2,065	
個人ローン以外の貸出金	4,099	3,923	4,137	